

こんな
ところで
アンリツ

富士山とアンリツ

— 山頂でもつながるLTEに向けて —

世界文化遺産登録により、ますます注目度が増している霊峰・富士山。

2013年の夏には、臨時基地局設備が設置され、山頂、登山道でもLTEサービスが提供されました。LTEサービスエリアの通信品質を測定できる計測器は、富士山でも快適なモバイルコミュニケーションの実現を支えています。



エリアテスタ
ML8780A+ML8781A

スマホとアンリツ

— LTE-Advancedに向けて —

LTE対応が進むスマートフォン端末。LTE端末の接続検証が行える基地局シミュレータは、端末やチップセット*の開発現場で使われています。

LTEの次の通信規格、LTE-Advancedに対応した計測技術も業界で初めて開発。既に世界各国の通信事業者、端末・チップセットの開発・製造元で採用され、モバイル・ブロードバンドサービスのさらなる高速化に貢献しています。

*チップセット:無線通信用半導体



シグナリングテスタ
MD8430A
(基地局シミュレータ)

東京スカイツリーとアンリツ

— テレビ放送波の完全移行に向けて —

東京タワーは、1954年から関東地方のテレビ放送波を送信していましたが、より高い位置から安定して放送波を送るために、2013年5月31日、東京スカイツリーへの移行が実施されました。このプロジェクトでは、アンリツのスペクトラムマスタMS2711Eなど、各種小型計測器が採用され、受信品質や電波強度の測定などで使用されました。

インターネットとの融合が加速するデジタル放送。アンリツは、新たな時代のTVコミュニケーションの実現を支えています。



スペクトラムマスタ
MS2711E